



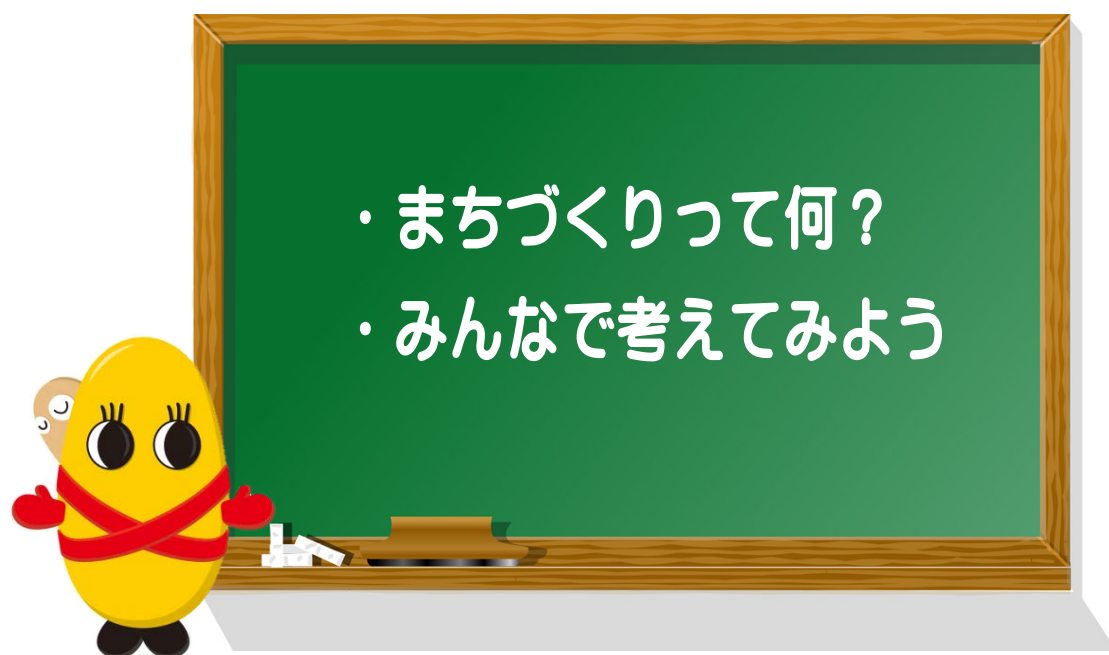
みんなでつくる

まち・ひと・きぼう

次の時代へ続く留萌

10年後の留萌へ

第6次留萌市総合計画(概要版)



年 組 名前

? 総合計画ってどんな計画

● そもそも総合計画ってなに？



総合計画とは、市の全ての計画の最上位となる計画で、50年後、100年後、未来の留萌市を良くしていくために作ります。

将来のために、市役所、市民、企業、まち全体が一丸となって取り組んでいくための計画です。

● どうして必要なの？



今の留萌市の姿（現状と課題など）を把握して、将来の留萌の姿（目指す留萌）をハッキリさせ、どのように解決していくか、どのように取り組んでいくかを定めるためです。

● 何年間の計画なの？



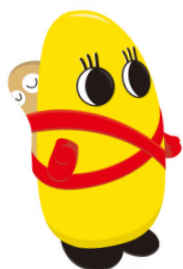
総合計画は、10年後の留萌市の姿を考えて作っています。
毎年、進み具合をチェックして、5年後に全体を見直します。

構 成	内 容	計 画 期 間	
基 本 構 想	・今後進めるべきまちの課題と解決の方向性が示されます。	平成 29～38 年度（10 年間）	
基 本 計 画	・基本構想で掲げた目指すべきまちの姿の実現のため、課題の解決に向けた分野別の計画です。 ・分野別の数値目標が設定されます。	前期 平成 29～33 年度 （ 5 年間）	後期 平成 34～38 年度 （ 5 年間）
実 施 計 画	・具体的に市役所の仕事を進める計画です。 ・毎年度の予算編成、人員配置と連動し、評価を受け、翌年度の内容を見直します。	H29～31年度 H30～32年度 H31～33年度 H32～34年度 H33～35年度	H34～36年度 H35～37年度 H36～38年度 H37～39年度 H38～40年度

※ 3 年間の計画を毎年度策定します。

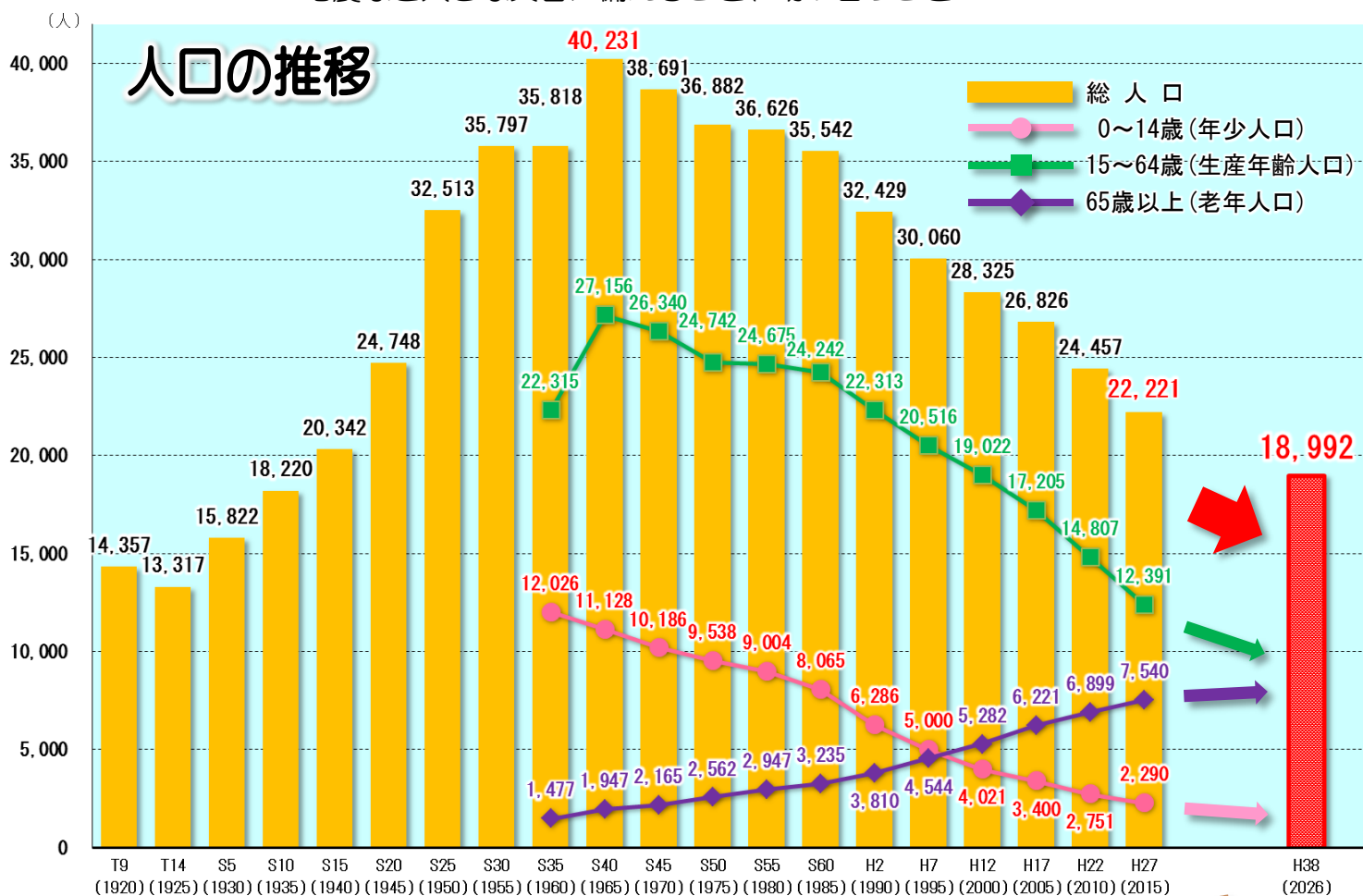
? 留萌市の現状と課題

● 留萌市の課題ってなあに？



留萌市の課題は、例えば

- ・人口が減り続けていること
- ・若い世代や子どもが減り、高齢者の割合がどんどん増えていること
- ・地域を支える大きな産業がないこと
- ・空き家や空き店舗が増えていること
- ・進学などで転出した若者が、戻ってこないこと
- ・地震など大きな災害に備えること、助け合うこと



人口が一番多かった
昭和40年の半分に以下に
なっちゃうの

● その課題解決に必要なもの？



その課題解決のために一番大切なことは、

「市民一人ひとりが考え、行動すること！」です。

この総合計画は、誰かの計画、よそのまちの計画ではなく、自分たち、自分たちのまちを良くするための計画です。

どうしたらまちは良くなるかをみんなが考え、学校のこと、地域のこと、いろいろなことに積極的に参加していくことが、とても大切です。



？ 総合計画の内容を教えて

● 総合計画はどうやって作ったの？

市民の代表（市民会議を設置）が、話し合いや市民生活を支える様々な団体から意見を聞いて、*市民計画を作りました。

その市民計画を踏まえて、市役所が総合計画を作り、市議会での議論（議決）を経て決まりました。

将来の目指すべき留萌像について協議を重ねる中で**4つのキーワード**が生まれ、そこから**4つの基本理念**を挙げました。



※市民計画：総合計画の基礎となる計画



安全・安心
防災
地域コミュニティ



子育て
教育
健康



市民自らの行動
人・人づくり
情報発信



将来性(未来志向)
コンパクト
住みやすいまち



1. 安全・安心なまち

台風や地震、津波などの自然災害や犯罪から市民の生命・財産を守るため、災害に強い基盤整備を計画的に実施するとともに、町内会などの地域コミュニティを基礎とした自主防災への意識が醸成された「安全・安心なまち」



2. 充実した教育と健康のまち

幼児教育、高等学校教育との連続性に配慮しつつ、小中9年間を見通した一貫した質の高い教育が提供され、併せて、道内唯一の健康の駅などを拠点として市民の健康と福祉の増進を図る「充実した教育と健康のまち」



3. 活力あるまち

市民自らが留萌の魅力を積極的に発信し、さらに地域産業の強化と起業しやすい環境づくりにより、新たな雇用が生まれ、内外から人々が集う「活力あるまち」



4. コンパクトなまち

市民や企業、行政が一体となって、長期的な視点で留萌の魅力を高め、生活拠点（まちの中心）・産業拠点・観光拠点が有機的につながる「コンパクトなまち」



● 留萌市の将来像って？



- 今留萌に住んでいる人やこれから生まれてくる子どもたちが、この留萌に「住み続けたいと思えるようなまち」にすること。
- 市外、道外、海外からも「留萌に魅力を感じて、行ってみたい、来てよかった、住んでみたい、住んでよかったと思えるようなまち」にすること。
- 夢と希望にあふれたまちの将来像として『みんなでつくる まち・ひと・きぼう 次の時代へ続く留萌』を基本テーマにしました。

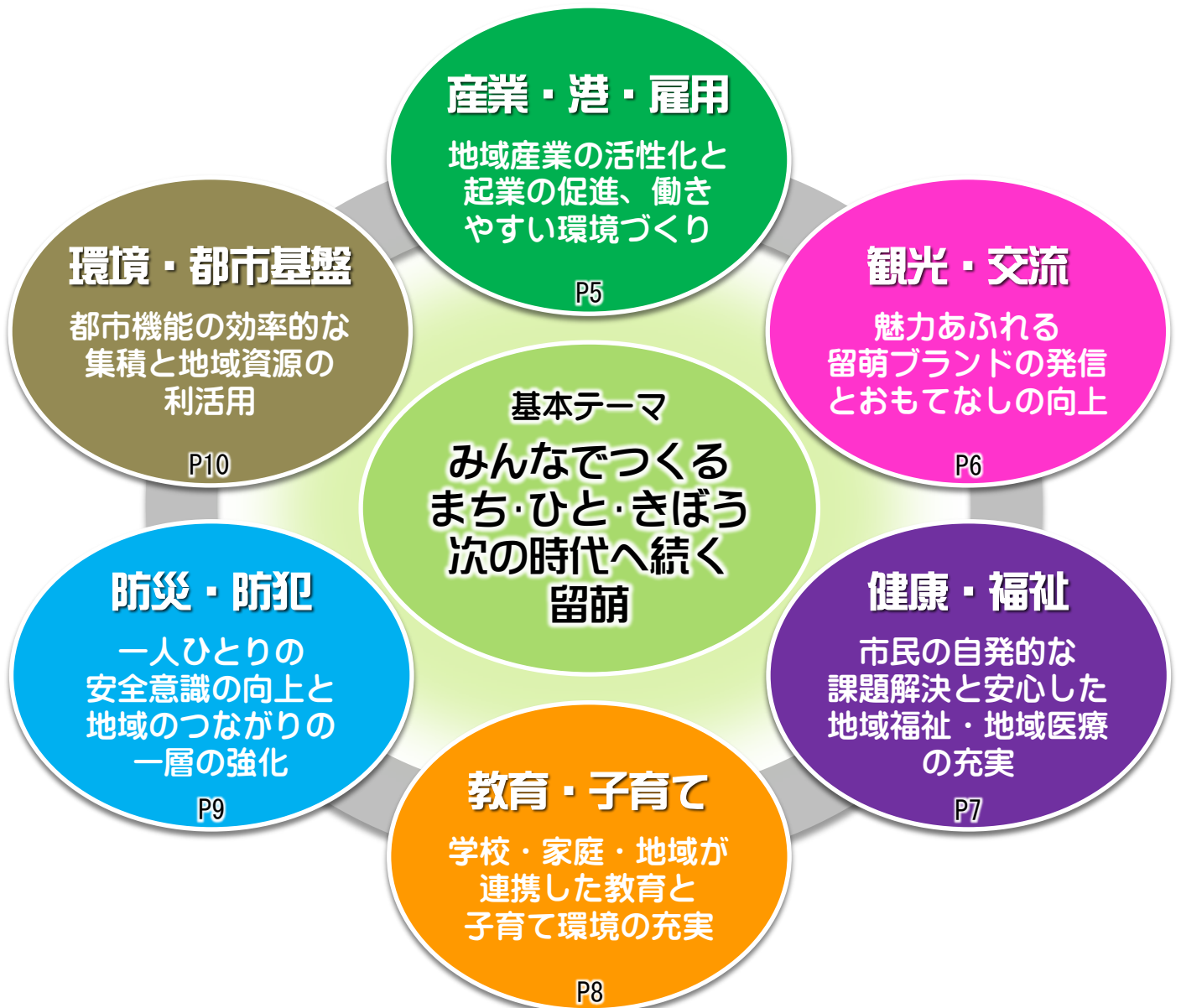
● どんな取り組み？



4つの基本理念を実現していくため、**6つの基本政策**に分類して、それぞれの目指す姿をあらわしています。

この基本政策は、学校の授業に例えると、「国語」「数学」「社会」「保健・体育」「美術」などの科目のようなものです。例えば、「数学」と「理科」が関連すること多いように、それぞれの政策は単独で成り立っているものではなく、つながりをもち、連携していくことでより効果が増すものです。

皆さんが学校で様々な科目を学ぶのと同じように、まちづくりを進めていくためには、特定の政策だけではなく、全体的なバランスをとりながら総合的に進めていくことが大切です。



産業・港・雇用

地域産業の活性化と起業の促進、働きやすい環境づくり

地域産業が元気で、新たな産業、働く場所や環境、港を活かしたまちにします

地域経済を支える中小企業の経営支援や起業しやすい環境整備など、留萌らしい産業を創り出すとともに、魚介類や農作物などの留萌の産物を積極的に消費、PRするなど生産者、消費者、行政が一体となることで、新規就業者の受入拡大、6次産業化への支援や販路拡大など、農林水産業の振興が図られます。

また、「かずの子の日」や「かずの子条例」の制定をきっかけとした留萌の基幹産業である水産加工業の活性化や地域産業のチャレンジする環境、磨き上げ、掘り起こしに取り組みます。

【基本施策】

【取り組む視点】

地域産業の振興

- 地域産業が元気で、地域経済が活発なまちにすること
- 新しい雇用をつくり出し、市民の経済生活が安定したまちにすること

一次産業の振興と地産地消の促進

- 地域の食を支える生産基盤を守り、発展させること
- 農漁業・農漁村を支える新たな担い手を育成・確保すること
- 森林が有する公益的な機能を守り、維持させること
- 持続可能な漁業の操業体制を確立すること

港湾・物流の確保

- 市民に愛され、親しまれる港があるまちにすること
- 道北圏域を含めた物流と地域経済が活発なまちにすること

皆 さんがこうなってほしいと思うこと

皆 さんができること

書いてみよう
やってみよう

■	
■	
■	
■	
■	
■	

観光・交流

魅力あふれる留萌ブランドの発信とおもてなしの向上

留萌の魅力をたくさんの人に伝え、留萌を訪れる人を増やし、交流が盛んなまちにします

船場公園の完成や高規格幹線道路の開通など、施設面での整備が進んできており、また、留萌には歴史に育まれた文化や美しい景観といった様々な宝と魅力があります。

そういった観光資源を大切に育て、広域的な連携の中で観光ルートの構築や留萌らしい観光を創りあげ、新しい人の流れ、新しい交流を生み、新しい産業に結び付いていくことを強く願い、今できることを見極め、着実に成果の上がる施策に取り組めます。



魅力の創造と発信

- 市民がまちの魅力を共有し、交流を深め、経済・文化が活発なまちにすること
- 船場公園・管理棟を核とした交流人口を拡大すること
- 市民に愛され、親しまれる港があるまちにすること

皆

さんがこうなってほしいと思うこと

皆

さんができること



書いてみよう
やってみよう

■	
■	
■	
■	
■	
■	

健康・福祉

市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

病気になっても、年をとっても、健康でいきがいをもち、安心して暮らせるまちにします

市民自らの主体的な健康づくりや地域の課題解決に向けた取り組みと、道内唯一の「健康の駅」を拠点とした市民の健康づくりや予防医学の研究など、全ての市民が健康な心と体で、元気に暮らし、また、いつでも安心した医療が受けられる環境の充実に取り組みます。

協働による 地域づくり

- 思いやりとぬくもりの地域コミュニティを再生すること
- 市民活動、市民参加、ボランティア活動が活発になること

健康の増進と 地域医療の充実

- 市民の健康を維持し、元気な市民がたくさんいるまちにすること
- 市民が安心して暮らせる医療環境を提供すること
- 高齢者がいきがいをもち、安心して暮らせること

地域包括ケア システムの充実

- 要支援、要介護状態となっても自分らしく暮らせること

地域福祉の充実

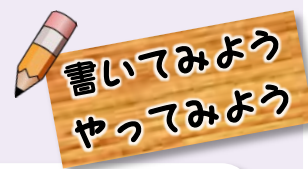
- みんなが支え合い安心して暮らせる「やさしいまち」をつくること

社会保障の充実

- 医療費適正化による持続可能な国民健康保険を安定的に運営すること
- 後期高齢者医療制度を安定的に運営すること
- 市民の健康増進と経済的負担の支援をすること
- 万一の場合でも、市民が安心して生活できること

皆 さんがこうなってほしいと思うこと

皆 さんができること



■	
■	
■	
■	
■	
■	

教育・子育て

学校・家庭・地域が連携した教育と子育て環境の充実

学力の向上と豊かな心、健やかな体が育ち、生涯にわたって学び、目標に向かって成長できる、また、子育てを応援するまちにします

子どもたちが主体的に未来を切り開く「自立」の力と、互いに支え合い、高め合い、協働して社会を創造する「共生」の力を兼ね備えることが重要です。

留萌市の宝である子どもたちの学力と体力が向上し、豊かな心と健やかな体が育成されることを願い、また、子どもから高齢者までの学習機会、学習環境の充実に取り組むとともに、結婚、妊娠、出産から子育てまで、切れ目がなく、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。

学校教育の充実

- 幼児教育、高等学校教育との連続性に配慮しつつ、小中9年間を見通して一貫した質の高い教育を提供すること
- 互いに認め合い、支え合う心を育むこと
- 望ましい運動習慣や食習慣を定着させること
- 教職員の資質・能力を総合的に向上すること
- 地域の教育力を積極的に取り入れた学校をつくること

社会教育の充実

- 市民協働により、子どもから高齢者までの様々な学習ニーズに応える社会教育事業の推進と学習機会を拡充すること
- 子どもたちに基礎的な運動習慣が身につくよう生涯スポーツの基礎づくりに努めるとともに、身近な地域で誰もがスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の基盤をつくること
- 芸術・文化活動の促進と鑑賞機会の拡大、文化関係団体等を育成すること

教育環境の充実

- 児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができること
- 生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組むことができる、安全・安心で質の高い教育環境を整備すること
- 児童生徒が登下校時に交通事故や犯罪に巻き込まれることがないよう、地域ぐるみで通学路の安全確保に努めること
- 子どもたちにとって望ましい教育環境を維持・向上させること

子ども・子育て支援の充実

- 子どもたちの夢・希望・笑顔で満ちあふれたまちにすること
- 子ども・子育て世帯が健康で豊かに生活できるまちにすること
- 仕事と子育ての両立を地域社会全体で応援するまちにすること
- 子どもたちが、心身ともに健康・健全に成長できるまちにすること

皆 さんがこうなしてほしいと思うこと

皆 さんができること

書いてみよう
やってみよう

■

■

■

■

■

■

防災・防犯

一人ひとりの安全意識の向上と地域のつながりの一層の強化

一人ひとりの力と地域の絆が強まり、災害にも強く、誰もが安心して住み続けられるまちにします

自分の命は自分で守るという「自助」を原則に、みんなのまちはみんなで守る「共助」、防災関係機関が守る「公助」、それぞれの防災機能を強化するとともに、防犯や交通安全に取り組み、誰もが安心して住み続けられるまちづくりに取り組みます。



安全・安心な 地域づくり

- 思いやりとぬくもりの地域コミュニティを再生すること
- 市民活動、市民参加、ボランティア活動が活発になること
- 自然災害から市民の生命・財産を守るまちにすること



安全・安心な 暮らし

- 市民が、安心(快適)で安全な生活環境で暮らせるまちにすること
- 市民の生命・財産を守るため災害に強い地域づくりをすること



安全・安心な 都市機能

- 市民の生命・財産を守るため、インフラの老朽化対策、事前防災・減災を推進し、安全・安心な道路ネットワークを形成すること
- 市民の生命・財産を洪水から守るための河川・ダムが整備・管理され、市民が安心して暮らせるまちにすること
- 災害時における市の防災活動及び行政機能拠点を維持・向上させること

皆

さんがこうなってほしいと思うこと

皆

さんができること



書いてみよう
やってみよう

■	
■	
■	
■	
■	
■	

環境・都市基盤

都市機能の効率的な集積と地域資源の利活用

自然環境を守り、快適な暮らしとコンパクトで効率的なまちにします

生活の拠点、産業の拠点、観光の拠点などを定め、道路や公共交通、ＩＣＴなどで有機的につながり、海や山、公園など自然や緑と融和のとれたコンパクトで無駄のない、また利便性や効率化が図られ、誰もが快適なまちづくりに取り組みます。



快適な住環境と自然環境

- 地球環境を守るために、自然にやさしい生活を送ること
- 市民が、快適で安全な生活環境で暮らせるまちにすること
- 安全で安定した水道水を供給し続けること
- 持続可能な下水道事業を推進し続けること
- 冬季の安全な道路環境確保のため、地域との協働による環境整備を進めること



快適な都市機能

- 自然とまちなかの調和のとれたまちにすること
- 活力と賑わいを持続できるまちにすること
- 効率性と利便性の高いまちにすること
- 生活拠点と観光拠点等を結ぶ道路網の充実、生活に身近な道路機能の向上や安全・安心な道路空間を確保するため、基盤整備を計画的に進めること
- 公園緑地や街路樹、花など緑を大切にし、また、公園施設の老朽化対策を推進し、安全で安心な都市環境を形成すること
- 森林や緑地に親しむ機会が増し、潤いとゆとりの都市空間があるまちにすること
- 市民に愛され、親しまれる港があるまちにすること
- 道北圏域を含めた物流と地域経済が活発なまちにすること
- 地域産業が元気で、地域経済が活発なまちにすること

皆

さんがこうなってほしいと思うこと

皆

さんができること



書いてみよう
やってみよう

■	
■	
■	
■	
■	
■	



留萌市ってハート型のまちなんだね



※このパンフレットのほか、詳しくは市ホームページをご覧ください。

第6次留萌市総合計画 一概要版一

発行：留萌市地域振興部政策調整課

TEL 0164-42-1809 / MAIL kikaku@e-rumoi.jp

URL <http://www.e-rumoi.jp>